

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		見学旅行の際の旅客機搭乗手続きについての学習
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	見学旅行に行こう
	授業の目標	単元の目標 ・見学旅行の見学先や活動内容について知り、意欲や目標をもつ。 ・見学先や活動内容に興味・関心をもち、地域資源の働きや活用の仕方について調べる。 ・集団行動や公共の施設を利用する際のルールやマナーを知る。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 3年 29人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input checked="" type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input checked="" type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・知的障がいを中心とする児童生徒とともに、様々な障がいを併せもっている生徒が在籍している。 ・生活全般において、経験不足に伴う行動面でのつまずきが多く見られる。 ・繰り返し取り組むことで、様々な活動に見通しをもつことができるようになってきている。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	Bluetoothスピーカー、iPad、PCレコーダー
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> C3社会生活支援) ・見学旅行において、旅客機の搭乗手続きの際の不安感を低減し、手続きを円滑に行うために繰り返し練習することとした。 ・毎回の授業前に特別教室前に段ボールで作成した搭乗口を設置し、QRコード付き搭乗券のレプリカをかざすと、音声で鳴るようにするなど、実際に即した形で繰り返し練習に取り組んだ。
授業に授業展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を行う教室前に搭乗手続き口を模した段ボールなどを設置する。 ・内部にbuletoothスピーカーを設置し、電源を入れる。 ・生徒が搭乗券(レプリカ)を所定の場所にかざす。 ・かざした位置を係員役の教員が確認して、iPadから音声を転送し、buletoothスピーカーを鳴らす。 ・手荷物検査などについては、別途授業を設定して、警備員役が検査を行うことを学習している。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し取り組むことで、見通しをもって活動することができるようになった。 ・旅行当日は混乱することなく、搭乗手続き及び手荷物検査を行うことができ、警報が鳴ったときに警備員の指示に従ってやり直すことができた。 ・アトラクションの入場券が、QRコードだったので、多くの場面で応用できた。 ・授業の評価(教材の評価)として、音源を変えるだけで様々な応用ができるということもあり、簡単に教材を作成できた。